



久留米市セーフコミュニティ 学校安全対策委員会

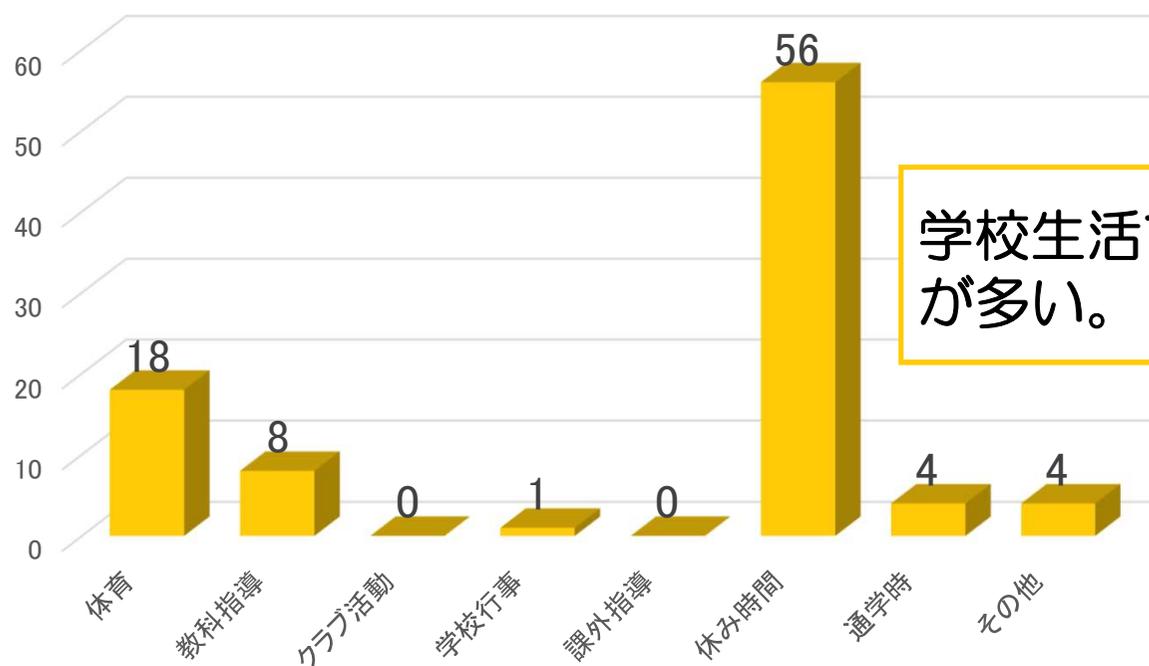


発表日 2022年 12月 22日 (木)
発表者 学校安全対策委員会委員長 小屋松 美和子
所属 久留米市立上津小学校

1-1 学校安全対策委員会の設置の背景

上津小学校 日本スポーツ振興センター災害救済給付対象のけがの件数(2011年度)

客観的データ



学校生活で、けがをする子どもが多い。

合計件数— 95件(全校児童数715名の13%)

1-2 学校安全対策委員会の設置の背景

主観的データ

学校における、いじめ・不登校が問題

自然災害の被害が大きくなっている

交通量が多く、子どもの交通事故が毎年発生

不審者情報の多様化・増加傾向

拠点校区（上津小学校区）

当時、学校敷地内に不審者が侵入し、子どもが殴打される事案が発生

学校は、子どもが安全安心だと感じられる場所でなければならない。

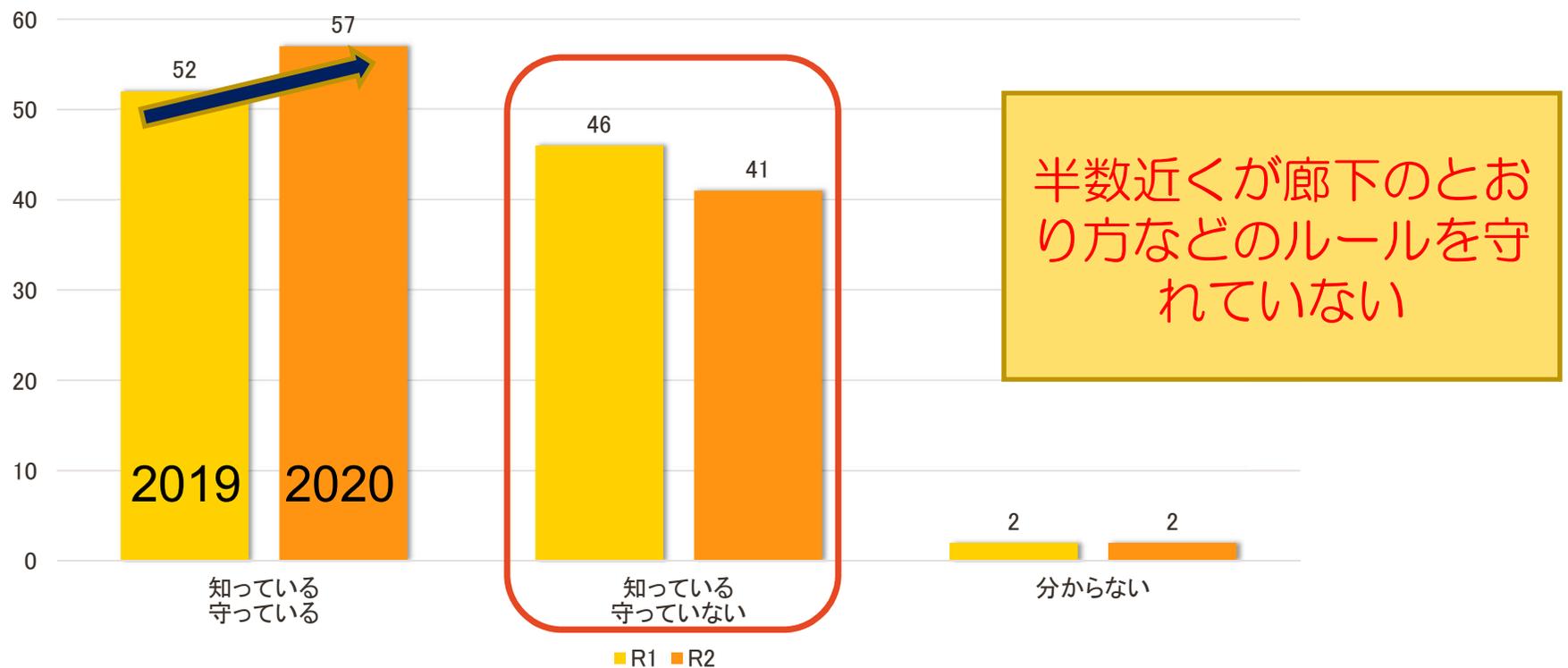
2-1 学校安全対策委員会のメンバー（2022現在）

区分	所属	名前	区分	所属	名前
関係機関	久留米市校区まちづくり連絡協議会	江島 正剛	学校	久留米市小学校長会	小屋松 美和子
	(一社)久留米市交通安全協会	広津 猛		久留米市中学校長会	古賀 一英
	久留米市校区青少年育成協議会連絡会議	松田 京子	行政機関	久留米市協働推進部安全安心推進課	今村 浩樹
	久留米市防犯協会連合会	吉富 巧		久留米市子ども未来部青少年育成課	原 稔治
	久留米市校区人権協連合会	綾部 章子		久留米市教育部学校教育課	新谷 祥生
警察	久留米警察署（交通第一課長）	前田 昌俊			
	久留米警察署（少年課長）	泉沢 晃一			

3-1-1 データに基づく課題

校内安全

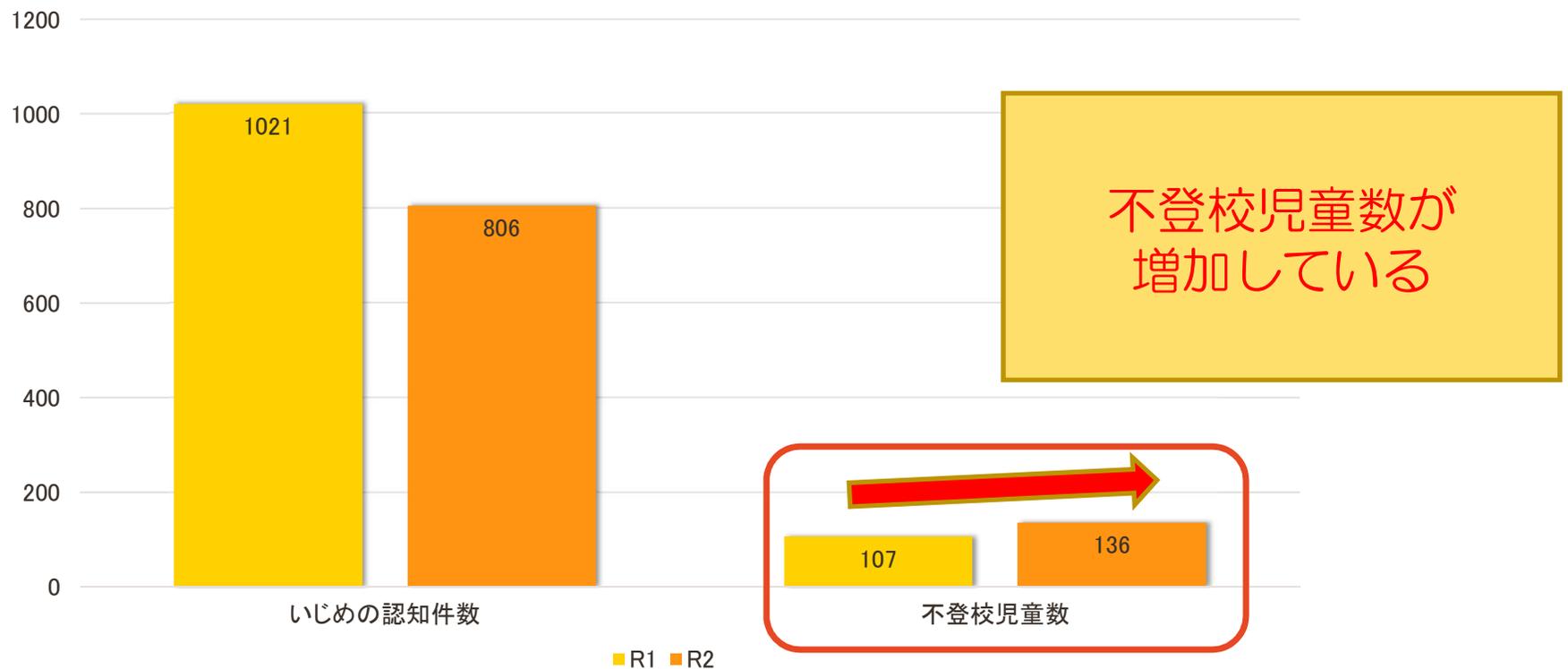
校舎の中で安全に過ごすルールを守っているか



3-2 データに基づく課題

いじめ・不登校

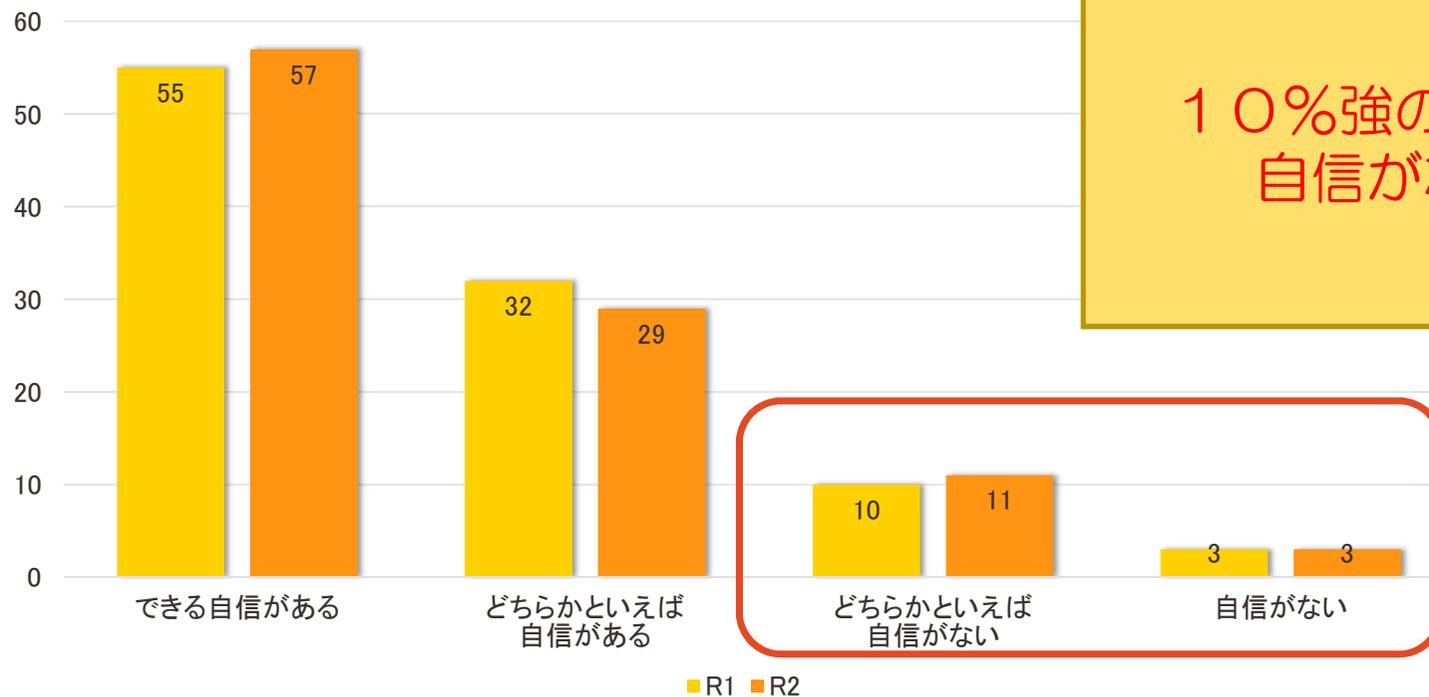
いじめの認知件数と不登校児童数



3-3-3 データに基づく課題

防災

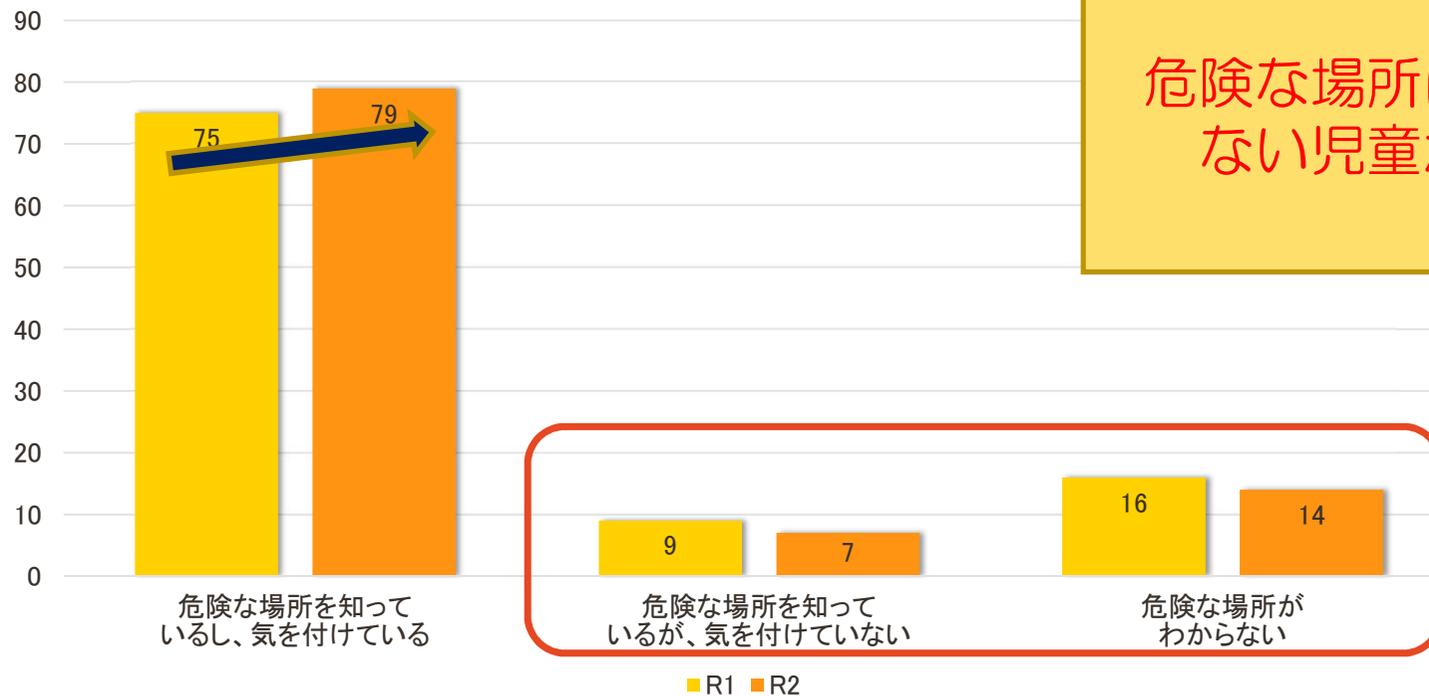
学校で火災や地震が起こったとき、落ち着いて安全に
避難できる



3-4-2 データに基づく課題

交通安全

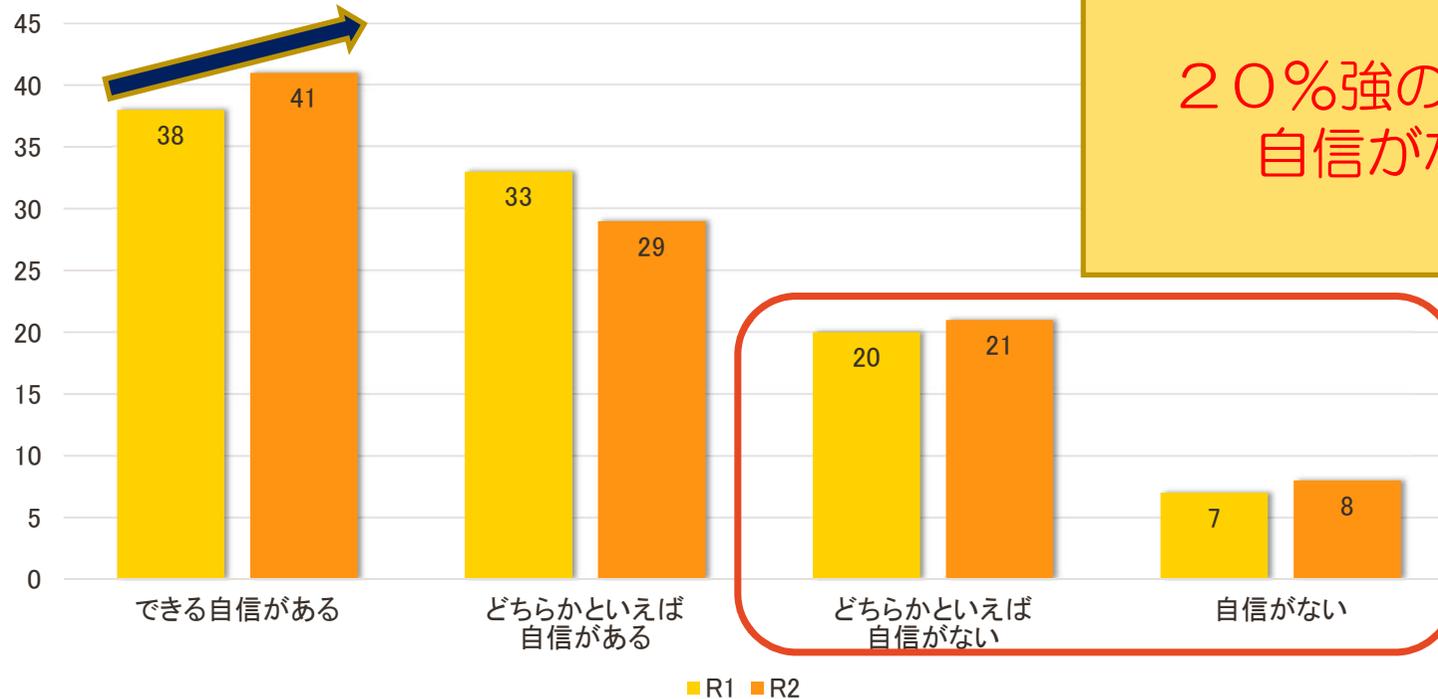
学校や家の周りで、交通事故が起こる危険な場所に
気を付けている



3-5-2 データに基づく課題

防犯

学校外で、不審者に出会った時に、落ち着いて
安全な行動ができると思うか

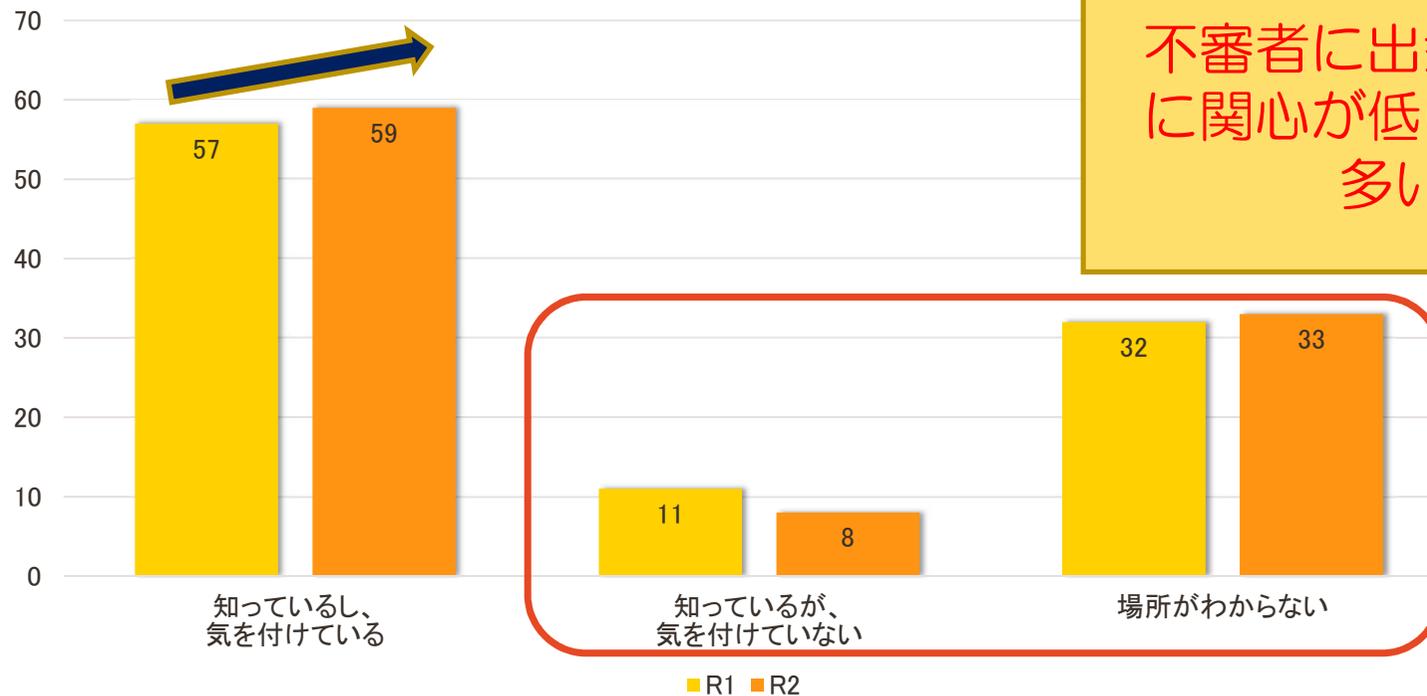


20%強の児童が
自信がない

3-5-3 データに基づく課題

防犯

学校や家の周りで、不審者に出会う危険がある
場所に気を付けているか



4-1 課題解決のための目標と具体的施策

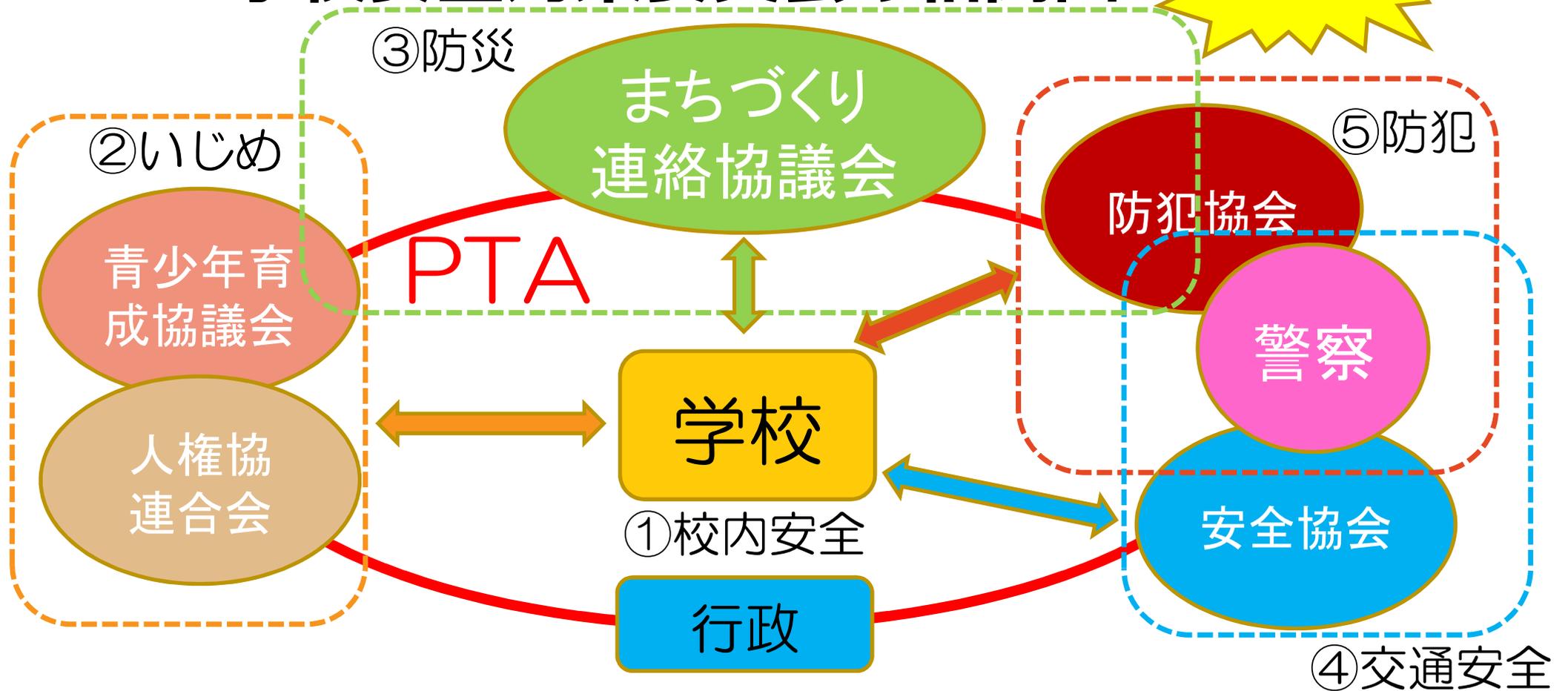
	課題	目標	具体的施策
校内安全	校内のルールを守れていない	校内の安全を守る児童数の増加	児童会活動による校内安全の取組
いじめ不登校	15%弱の児童がいじめをしている自覚がある	いじめの認知件数の増加 不登校児童数の減少	いじめの芽をつむための教育や取組の推進
防災	安全な避難に10%強の児童が自信がない	安全な避難に自信がある児童数の増加	防災訓練の実施
交通安全	交通事故が起こる危険な場所に関心が低い児童	交通事故の危険場所に関心がある児童数の増加	交通安全教室の実施
防犯	不審者に出会う危険に関心が低い児童	不審者の危険場所に関心がある児童数の増加	防犯教育の実施

4-2 学校安全対策委員会の役割



4-3 学校安全対策委員会の相関図

NEW



5-1 レベル別の対策



目標	国県レベル	市レベル	学校レベル
校内の安全を守る児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【生活安全】	AEDの設置 いのしし対策	児童会活動
いじめはしないという児童数の増加	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の手引（県）	生徒指導サポーター くるめアクションプラン デートDV防止 SOSの出し方教育	いじめアンケート 教育相談 相談ポスト
安全な避難に自信がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【災害安全】		避難訓練 着衣水泳 久留米版PUSH project
交通事故の危険場所に関心がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【交通安全】		交通安全教室 登校指導 交通安全マップの作成
不審者の危険場所に関心がある児童数の増加	第3次学校安全の推進に関する計画【生活安全】 規範意識育成事業（県）	不審者メール ツイタもん	防犯教室

6-1-1 具体的施策の紹介・成果

委員会を中心とした呼びかけ活動



廊下の通り方について委員会で呼びかける活動



校内安全マップの作成

6-1-3 具体的施策の紹介・成果

災害時の危険を想定した避難訓練



火災を想定した
体験的な避難訓練の実施



地震を想定した
避難訓練の実施



緊急避難場所の
日常的な確認

6-1-4 具体的施策の紹介・成果

外部団体が参画した交通教室の実施



警察が参画した体験的な交通教室の実施

6-1-5 具体的施策の紹介・成果

実践的な防犯教室の実施



ロールプレイを取り入れた体験的な防犯教室の実施

安全マップづくりの取組



防犯上の危険箇所の確認やマップの見直し

6-2 具体的施策の紹介・成果

NEW

不審者侵入を想定した取組の改善



【対策本部】

主に全体把握や判断・指示・通報

【現場班】

主に不審者対応

【児童対応班】

主に避難指示・誘導

【校内巡視班】

主に校内巡視・残留時の搜索

【救護班】

主に負傷児の対応・救急隊との連携

6-2 具体的施策の紹介・成果



久留米版PUSH project



8-1 取組による全体的な成果



NEW

8-1 取組による全体的な成果

校内安全

市内46校

けがの状況報告や保健室利用人数の集計・グラフ化（掲示）	29
月のめあての設定と振り返り・評価等	44
校内安全マップ	30
外遊びや雨の	44
安全な遊び方	33
学校、学級、個人の目標設定と定期的な振り返り活動	30
校内放送による安全に関する呼びかけ等	42
代表委員会の課題にあげるなど、児童による自治的な活動の推進	31

児童の自治的な取組等の広がりが見られる。

NEW

8-1 取組による全体的な成果

いじめ・不登校

市内46校

いじめに関するアンケート及び教育相談の実施	45
いじめの認知や対応方法等についての教員研修の実施	38
いじめの認知	45
いじめ・不登校	43
ネットいじめ	38
保護者向けチャット	42
相談ポストの活用	41
児童による啓発ポスターの作成・掲示等	25

いじめの認知や対応に関する研修の実施の広がりが見られる。教職員の視点や行動の変化が児童の変容につながる。

NEW

8-1 取組による全体的な成果

防災

市内46校

避難訓練の実施	45
教科等の時間を活用した防災についての学習	39
消防署や防災	32
避難経路や避	42
着衣水泳の実	20
地域や家庭と連携した防災に関する研修会等	10
非常時の緊急下校等についての指導及び連絡先の確認等（引	43
児童を対象にした救命救急講習の実施	5

着衣水泳や救命救急講習などの実施に取り組んだ。



NEW

8-1 取組による全体的な成果

交通安全

市内46校

地域やPTA等との連携による登下校中の見守り活動	44
地域ボランティアや警察等の関係機関と連携した交通安全教室の実施	41
特別活動にお	39
教職員による	39
ヘルメット着	35
地域やPTA等との協力による校区安全マップの作成	31
安全指導に特化したお便り等の配布	16
交通安全に関する強化月間等の設定	19

地域との連携に広がりが見られる。

NEW

8-1 取組による全体的な成果

防犯

市内46校

学校による防犯パトロールの実施	21
「子ども100番の家」の設置促進と更新	42
不審者対応の	38
PTAを対象に	7
「子ども100番の家」の設置促進と更新	22
学校、地域の関係機関等との緊急時連絡体制の構築	34
防犯の機能をもたせた校区安全マップの作成	32
保護者、地域による見守り活動	44

保護者、地域を巻き込んだ防犯活動が広がりにつつある。

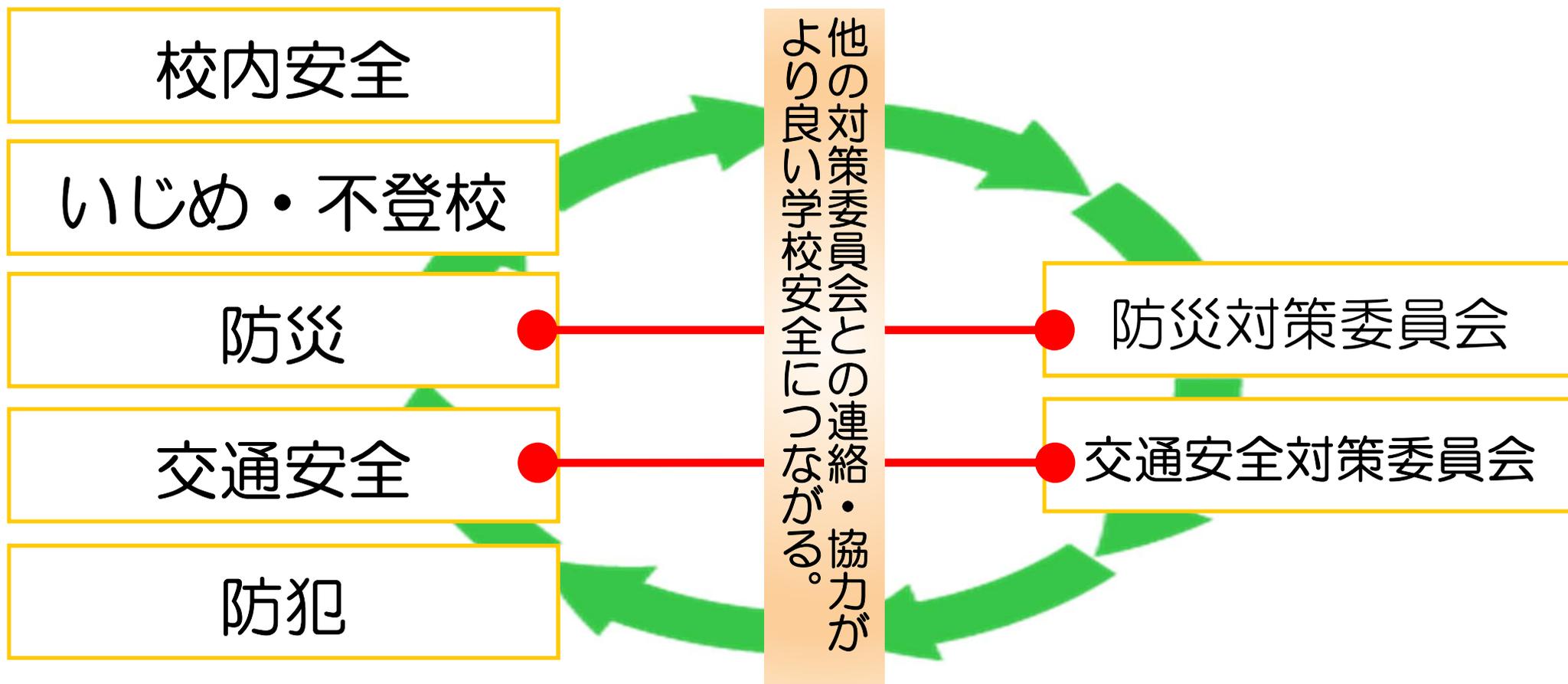
9-1 再認証取得後の変化・気付き

全44小学校が上津小学校のモデルを参考にした
安全教育プログラムを作成して、安全教育を実施

新たな学校安全の取組
「着衣水泳」や「救命救急講習」

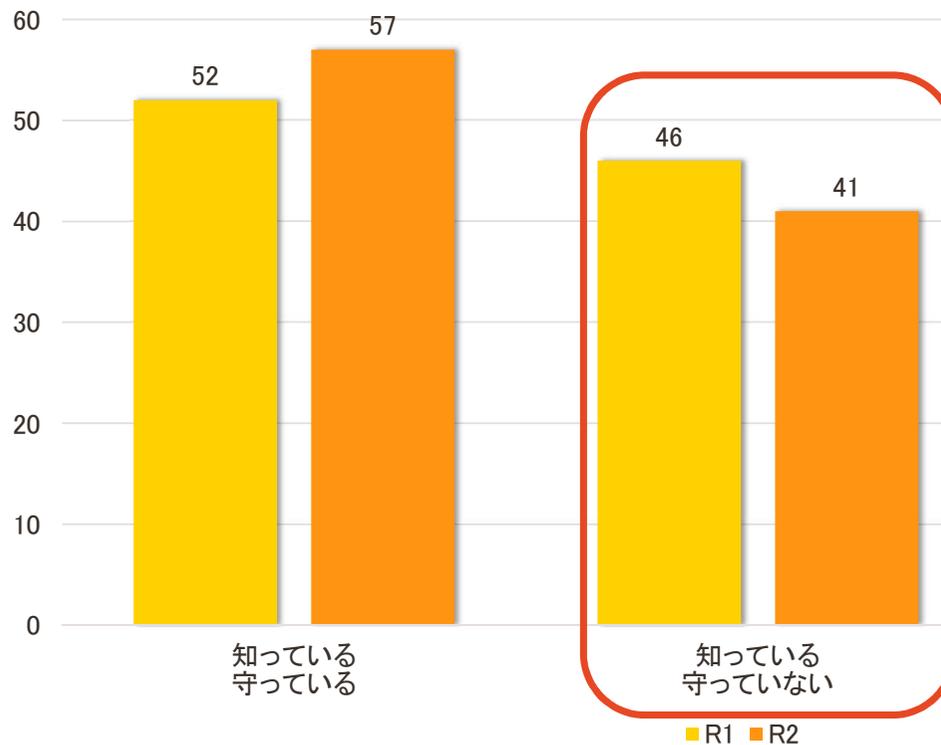
安心な居場所作り
「不登校児童への早期対応」

9-2 再認証取得後の変化・気付き

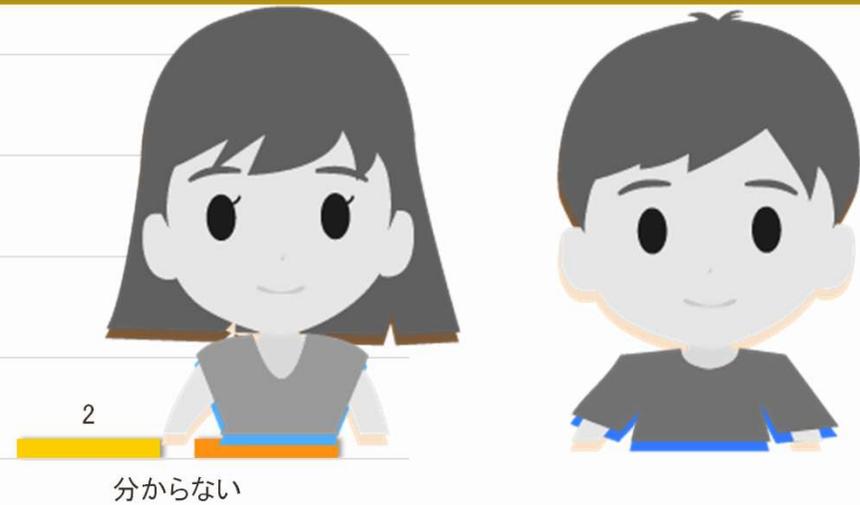


10 今後の課題

校舎の中で安全に過ごすルールを守



様々な学校安全プログラムを与えても、「児童のもの」にはなっていない可能性が考えられる。



10 今後の課題

安全教育の目標

児童の**危険回避能力**や**行動選択能力**の向上等を目指し、地域社会の中で自他の安全に目を向け、交通のマナーなど他人への心配りもできる資質・能力を育てる。

めざす児童像

安全に関する情報を**正しく判断**し、**安全を確保するための行動**に結びつけることができる。

育てたい資質・能力

危険回避の意思決定 **自他の安全を守る行動選択**

生活安全の指導方針

①登下校の安全 ②校内での安全 ③家庭・地域での安全

10 今後の課題

自他の命を守る
子どもを育てる

実効性のある
安全教育の確立

子どもの命を守る
学校職員へ

教職員の意識の向上
スキルの向上
組織づくり

ご清聴ありがとうございました。



学校の安全対策委員会